

- 川内地域の避難計画※において、PAZ及びUPZの対象となる薩摩川内市を含め7市2町の避難先については、主として鹿児島県内に設定している。避難経路及び避難先のいずれも今回の地震による影響がないことを確認。
※川内地域の避難計画においては、鉄道による避難を含めておらず、自家用車やバス等を基本とした避難計画としている。
- UPZ内の阿久根市及び出水市の一部の住民については、熊本県の芦北町、津奈木町、水俣市の3市町に国道3号線等を利用した避難を予定しているが、いずれの避難経路においても、現状において、通行止め等の問題がないことを確認。
- また、予め定めた避難先での受入が困難であるような場合には、鹿児島県が、鹿児島県内の予め登録された複数の避難先施設から避難先を調整する「原子力防災・避難施設等調整システム」を活用し、新たな避難先を迅速に選定する。
- なお、原子力災害対策では、自然災害との複合災害を想定し、予め複数の避難経路を設定しており、仮に一方が不通になった場合でも、代替経路を設定して避難することとしている。
- 引き続き余震が続いていることから、注意深く見てまいります。

原子力災害対策重点区域の概要

- 鹿児島県地域防災計画では、原子力災害対策指針に示されている「原子力災害対策重点区域」として、発電所より概ね5kmを目安とするPAZ圏内、発電所より概ね5～30kmを目安とするUPZ圏内の対象地区名を明らかにしている。
- 川内地域における原子力災害対策重点区域は、PAZ圏内は薩摩川内市、UPZ圏内は7市2町にまたがる。



<5km圏内>

PAZ(予防的防護措置を準備する区域):
Precautionary Action Zone
⇒ 急速に進展する事故を想定し、事故が発生したら直ちに避難等を実施する区域

1市(薩摩川内市)
住民数:4,902人※

<5～30km圏内>

UPZ(緊急時防護措置を準備する区域):
Urgent Protective Action Planning Zone
⇒ 事故が拡大する可能性を踏まえ、避難や屋内退避等を準備する区域

7市2町(薩摩川内市、いちき串木野市、阿久根市、鹿児島市、出水市、日置市、始良市、さつま町、長島町)
住民数:209,300人※

※ 人口は平成26年4月1日現在

PAZ及びUPZ内住民の避難経路について

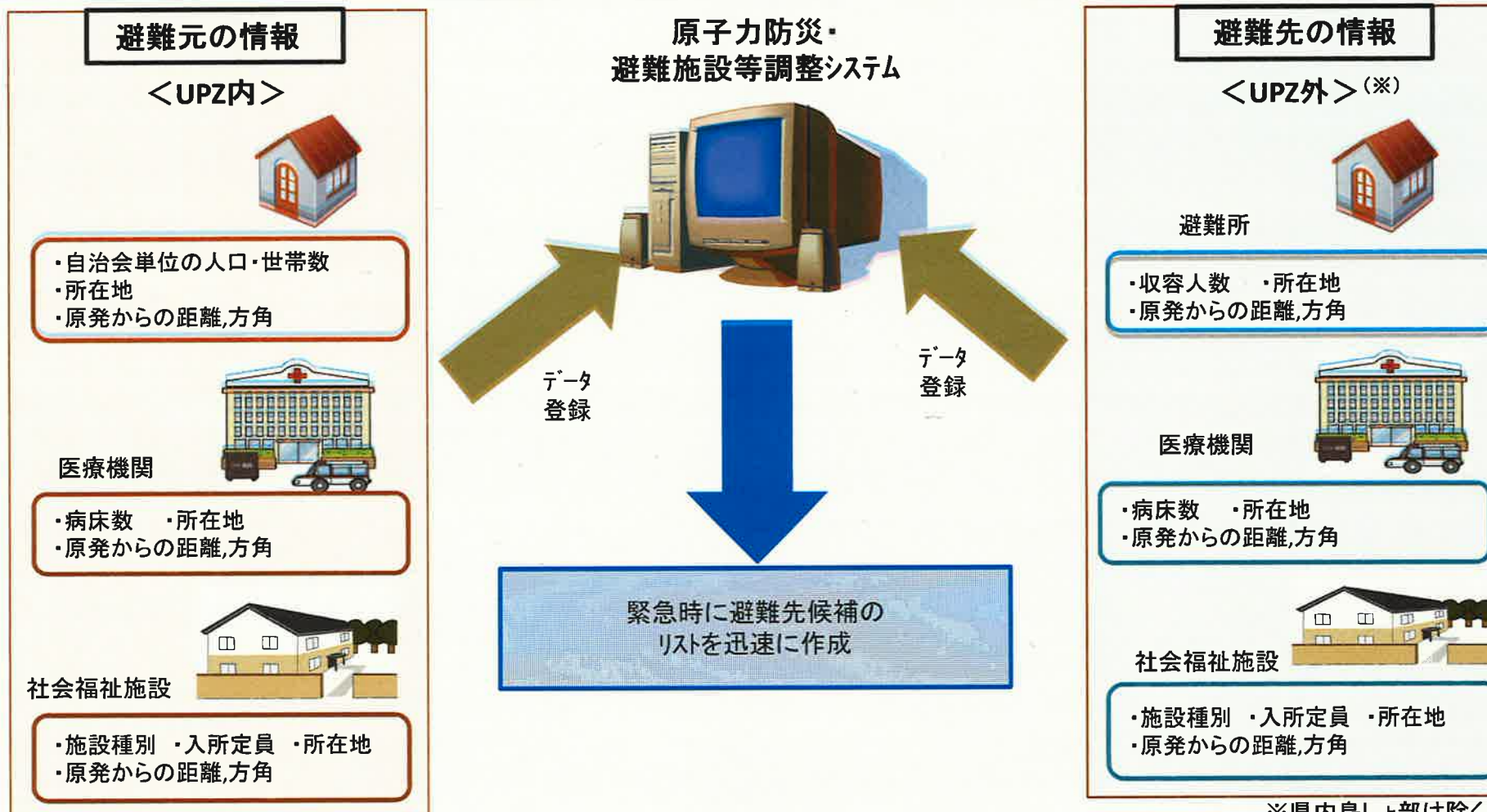


阿久根市・出水市の熊本県への避難経路について



受入先調整のためのシステム

- 鹿児島県では、一時移転等の防護措置が必要となった場合に備え、予め選定した避難先が使用出来なくなった場合の避難先や医療機関、社会福祉施設等の受入先を迅速に調整するため「原子力防災・避難施設等調整システム」を整備。
- 同システムは、避難先調整の際に必要な施設の情報をあらかじめ登録し、緊急時において避難先を迅速に調整。



※県内島しょ部は除く

